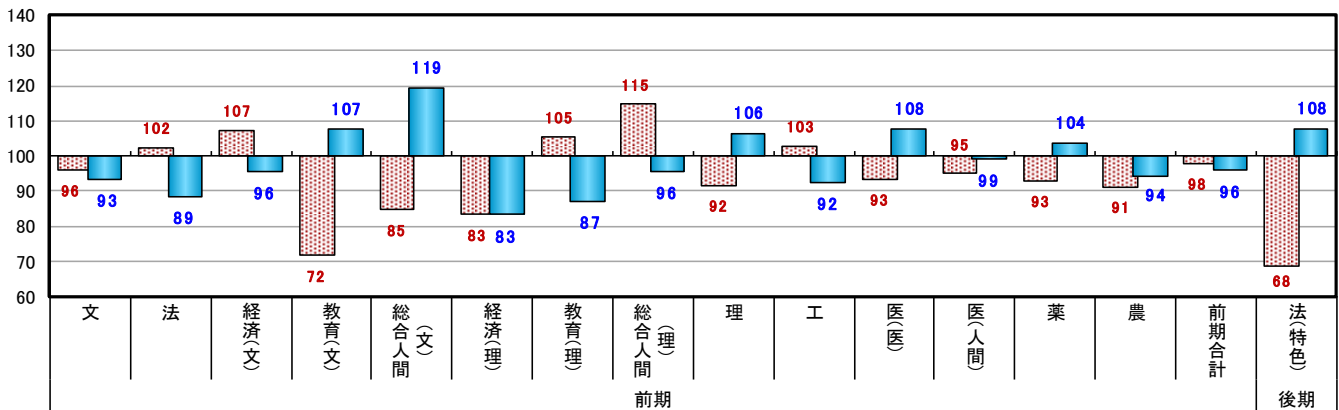


# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

京都大：前期合計では8年連続減少、法のみ後期は増加 前期：-302人 後期：+27人

※前年度の志願者数を100とする指数

□2020年度/2019年度 ■2021年度/2020年度



## 入試変更点

選抜方法：第1段階選抜基準変更

理<前>…センター試験の合計が900点満点中630点以上→共通テストの合計が900点満点中概ね70%以上  
 医(医)<前>…センター試験の合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍まで→約3倍

募集人員：理…<前>306人→301人

農…<前>54人→52人

受入学生数(目安)：

※国際コース入学手続者確定に伴う変更(2021年1月13日発表)

工(地球工)…<前>152人→175人

## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は302人(96)のやや減少で8年連続減少。文理別では、文系は114人(95)のやや減少で3年連続減少、理系も188人(96)のやや減少で7年連続減少。特色入試として実施の法のみ募集の後期は、27人(108)の増加で、前年度の反動による増減が継続。

## <前期日程>

- 文(93)は、やや減少で2年連続減少。
- 法(89)は、減少で前年度の反動による増減が継続。
- 経済は、(文系)(96)は前年度の反動でやや減少、(理系)(83)は前年度に続いて2年連続大幅減少。
- 教育は、(文系)(107)は前年度大幅減少の反動でやや増加、(理系)(87)は2年ぶりに減少。
- 総合人間は、(文系)(119)は2年連続減少の反動で大幅増加、(理系)(95)は前年度大幅増加の反動と共通テストは地歴公民の得点のみを利用するため理系での選択率の高い地理Bの難化の影響でやや減少。
- 理(106)は、前年度減少の反動でやや増加
- 工(92)は、前年度やや増加の反動と共通テストで利用する国語、地歴公民、外国語の3教科の中の地歴公民において、理系の選択率の高い地理Bの難化の影響で減少した。学科別では、6学科すべてが減少し、特に(情報)(82)は、人気が高い系統だが、前年度増加の反動と難化傾向への警戒から大幅減少。
- 医(医)(108)は、2年連続減少の反動で増加したが、志願者数は3年連続300人を下回った。
- 医(人間健康科学)(99)は、微減だが、4年連続増加が見られない。
- 薬(104)は、2年連続減少の反動は小さく、やや増加に留まり、志願者数は3年連続200人を下回った。
- 農(94)は、系統への不人気を反映して2年連続減少で、志願者数も2年連続で700人を下回った。
- 志願倍率の基準による第1段階選抜は、総合人間(文系)(理系)で実施されたが、いずれも合格率は90%を超えた。また、経済(理系)は志願倍率が第1段階選抜実施予告倍率を超えたが、実施されなかった。

## <特色入試> ※〔 〕内は前年度数値

- 後期募集の法を除くと、募集人員145人〔138人〕に対して、志願者数は551人〔563人〕、合格者数は118人〔107人〕。志願倍率は3.8倍〔4.1倍〕で0.3ポイントダウンした。コロナ禍による志願者数の減少が見られた。
- 学部・学科・コース・入試方式別の合格者数は以下のとおり。
  - 文…11人〔10人〕、経済…17人〔18人〕、教育…5人〔6人〕、総合人間…5人〔5人〕
  - 理…11人(数理学入試6人、生物科学入試5人)〔5人〕
  - 工(建築)…1人〔0人〕、(工業化学)…6人〔4人〕、(情報)…3人〔3人〕、(電気電子工)…6人〔3人〕、(物理工)…4人〔3人〕、(地球工)…3人〔2人〕
  - 医(医)…2人〔2人〕、(人間健康科学/先端看護科学)…21人〔19人〕、(人間健康科学/先端リハビリテーション科学-理学療法)…5人〔4人〕、(人間健康科学/先端リハビリテーション科学-作業療法)…2人〔5人〕
  - 薬(薬科学)…3人〔4人〕、(薬)…2人〔0人〕
  - 農(食料・環境経済)…2人〔3人〕、(資源生物学)…2人〔4人〕、(応用生命科学)…2人〔4人〕、(地域環境工)…2人〔1人〕、(森林科学)…3人〔1人〕、(食品生物学)…0人〔1人〕